

2017 年度 センター試験 英語リスニング(本試験) 分析

全体概況

試験時間 約 30 分

大問数・解答数	大問数：4 題	解答数：25 問
難易度の変化（対昨年）	○ 難化 ● やや難化	○ 変化なし ○ やや易化 ○ 易化
問題の分量（対昨年）	○ 増加	● 変化なし ○ 減少
出題分野の変化	○ あり	● なし
出題形式の変化	○ あり	● なし
新傾向の問題	○ あり	● なし
<p>総評 大問数、解答数に変化はなかった。昨年出題形式の変更があった第 3 問と第 4 問では、今年も同様の形式で出題された。聞こえてきた音声から直接答えを選ぶことができる問題と、消去法で答えを出さなければならない問題が混在しており、解答に苦勞した受験生も多かっただろうと予想される。また、会話の状況から答えを推測する問題が複数出題されており、このこともテストの難易度を押し上げていると考えられる。以上のことから難易度は昨年と比べ「やや難化」とした。</p>		

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	短い対話を聞き、答えとなるイラストや数値を選ぶ問題	12 点	消去法で答えを出す問題や、簡単な引き算を 2 回繰り返して答えを出す問題が出題された。さらには分数の聞き取りなども出題されているので、第 1 問は昨年よりもやや難しくなった。
第 2 問	短い対話を聞き、続く応答を選ぶ問題	14 点	対話文から答えとなる応答を推測するのが難しい問題が複数出題された。また、仮定法を聞き取ったうえで正解を出さなければならない問題も出題されており、第 2 問は昨年よりも難化したと言える。
第 3 問 A	対話を聞き、質問の答えとなる英文を選ぶ問題	6 点	どの問題も、設問と選択肢をしっかりと確認できていれば容易に答えを出すことができるため、第 3 問 A は昨年よりもやや易しくなった。
第 3 問 B	対話を聞き、質問の答えとなる英文を選ぶ問題	6 点	昨年の新形式が踏襲されている。問 17 は音声と印刷された情報を照合しながら選択肢を消す必要があるため、難易度は高い。残りの 2 題も解答を推測しなければならず解きにくい。このことから第 3 問 B は昨年よりもやや難化したと言える。
第 4 問 A	長めの英文を聞き、質問の答えとなる英文を選ぶ問題	6 点	John Wilson という人物についての聞き取りが出題された。昨年出題された「生きたロブスターをもらった話」と比べれば、かなり取り組みやすい問題だった。ただし、問 22 は、かなり細かい部分の聞き取りが必要であったため、第 4 問 A は全体として昨年並みの難易度と言える。
第 4 問 B	3 人の会話を聞き、質問の答えとなる英文を選ぶ問題	6 点	昨年の新形式が踏襲されている。英文自体は聞き取りやすかったものの、選択肢がパラフレーズされており、解答を出すのに苦勞した受験生も多かったと思われる。